



# びぶいお定期便



5月も下旬に入り、気温の高い日が続いて、図書館を訪れる学生さんの制服も、夏服に衣替えしている人を見受けられるようになりました。

ところで皆さん、衣替えが日本で始まったのはいつごろか知っていますか？衣替えの歴史はとても古く、平安時代に中国から伝わり、宮中行事として始まりました。もともとは「更衣（こうい）」といわれていましたが、衣服の着替えを務める女官の職名も「更衣」といったことから、まぎらわしいので「衣替え」というようになったそうです。大昔から続く習慣だと思えば、何気なく行っていた衣替えもなんだか歴史が感じられますね。

## 恵那市中央図書館 ジュニアコーナー 5月の新着本紹介

書名	著者名	出版者	請求記号
大学学科案内	学研 プラス/編著	学研 プラス	376.8/カ/
高校生からはじめるプログラミング	吉村総一郎/著	KADOKAWA	547.4/ヨ/
サヨナラノオト	オザワ部長/著	学研 プラス	764.6/オ/
暗き夢に閉ざされた街	あさのあつこ/著	ポプラ社	913.6/ア/

## 今月のイチオシ!

今月のおすすめ びぶいお本 『100時間の夜』

アンナ・ウォルツ/作 フレーベル館 K949/ウ  
ジュニアコーナー

父親の起こしたスキャンダルのせいで執拗なネット中傷を受けたエミリアは、ひとりオランダからアメリカ・ニューヨークへと渡る。憧れの町で彼女を待っていたのは、大型ハリケーンによる大停電の100時間だった!

友情の絆や家族を描いた本書ですが、作者のインターネットに書き込まれた文章に対する鋭い視線も大きな見所です。ネット上に溢れるどの情報や言葉を信じるのか、あるいは切り捨てるべきなのか、考えるきっかけとなる一冊です。

## 恵那農業高等学校

このところ、体調がすぐれないのですが、その原因を考えてみました。鼻水が出て、喉がいがらっぽいので、花粉症になったのかなと思っていましたが、どうも原因は、このところ中国大陸から多量に渡ってきている「黄砂」、のようです。マスクをするぐらいしか防ぐ方法はありませんが、海を隔てた中国ですが、「空はつながっているのだな」と、あらためて認識しました。みなさんはどうですか？

オススメの一冊  
「妖怪アパートの幽雅な日常」シリーズ

香月日輪著

僕がお奨めするのは「妖怪アパートの幽雅な日常」全10巻です。稲葉夕士という主人公が高校に進学してから物語は始まります。親友やアパートの人達とともに、苦難を乗り越えながら成長していく物語です。自分も現在高校に通っていて、自分と重なる部分がたくさんあって（就職活動の事なども出てきます）共感することができるのです。是非皆さんも読んでみてください。

園芸科学科 3年 吉村拓真

## 恵那高等学校

4月20日に3年生普通科の総合学習の「生き方我が道」の発表会がありました。各分野に分かれたゼミで、自分の興味のあることについて半年間調べ、代表者がステージ上で発表しました。今年は「少子化が進む現代でおもちゃを売る方法」や「客を楽しませられる舞台とは」や「嘘をつくとき、人はどのようなことをするのか」などの、とても幅広いテーマで研究することができました。またパワーポイントを使って分かりやすく説明したり、話し方にも工夫をしたりして伝えることができました。努力の成果が見える発表会でした。



## 恵那特別支援学校

【ハイキングに行きました】

5月2日（火）に、中学部・高等部のハイキングを実施しました。生徒たちはいくつかのグループに分かれて岩村町内を散策しました。富田会館方面を散策したグループは、自然豊かな景色を楽しみながら歩き、最後は富田の川原でサワガ二等の生き物たちとふれあいました。また、飯高観音を訪れたグループは五平餅のいい香りに、今度食べに行きたいと思ったそうです。どの生徒も郷土に五感を通じてふれることができました。

【運動会のお知らせ】

6月3日（土）に当校体育館で、小学部・中学部運動会を開催します。お時間がありましたら、児童生徒たちが元気に活躍する姿をご覧ください。



おすすめ本を紹介します

『ドラえもん の 絵 と デザイン が と く い に な る 』

ドラえもんの漫画を読みながら、絵やデザインについて学べる本です。道具の使い方についても詳しく学べます。また、有名な画家もたくさん出てくるので、芸術や歴史にふれることもできます。絵を描くことが得意でない人も、もっと上手く絵を描きたいと思っている人も、この本を読んで絵を描くことがもっと好きになると思います。ぜひ、読んでみてください。